

# 2016年3月期第1四半期 ご参考資料

## 日本通運株式会社 経営企画部(IR)

I. 経営状況	
A. 2016年3月期第1四半期決算の概要	P. 1
B. セグメント別状況	P. 2-
II. 経営計画の進捗状況	P. 7
III. 外部環境の変化	
A. 増減要素(1Q)	P. 8
B. 外部要因の想定(2Q以降)	P. 9

2015年7月31日

# I. 経営状況

## A. 2016年3月期第1四半期決算の概要

### 1) 概要 (連結)

(単位：億円、%)

	2016/3期 1Q実績 ①	2015/3期 1Q実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷② X100	上半期予想 (5月8日 発表) ⑤	進捗率 ①÷⑤ X100	差額 ⑤-①	通期予想 (5月8日 発表)
売上高	4,743	4,529	214	4.7	9,730	48.8	4,986	20,000
営業利益	105	91	13	14.7	230	45.9	124	540
経常利益	132	120	12	10.4	280	47.4	147	630
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	81	47	34	74.1	165	49.7	83	340

(億円未満切捨て)

### 2) 連結経営指標

(前年同期実績)

・売上高営業利益率	2.2%	(2.0%)
・売上高経常利益率	2.8%	(2.7%)
・ROE	6.1%	(3.6%)
・ROA	2.3%	(1.4%)

# I. 経営状況

## B. セグメント別状況

### 1) 複合事業

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	1,805	1,809	△3	△0.2	3,660	49.3	1,854
セグメント利益	40	25	14	58.2	92	44.1	51
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラック輸送は、営業日数△1日による物量減を料金改定の効果で補い、前年並みの売上高を確保。</li> <li>倉庫における食料品関連の取扱いが増加し、通販関連をはじめとするロジスティクス業務も順調に推移。</li> </ul>						

### 2) 警備輸送

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	136	138	△1	△1.2	278	49.1	141
セグメント利益	4	3	1	53.0	5	87.5	0
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の不採算業務から撤退したことにより売上げは減少するも、利益率が改善し、増益。</li> </ul>						

### 3) 重量品建設

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	136	127	8	6.8	257	53.1	120
セグメント利益	8	5	3	53.8	11	76.6	2
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に旺盛だった国内のシャット・ダウン・メンテナンス業務の反動減を、マレーシア、ベトナムでの大型プラント工事などがカバーし、増収。</li> </ul>						

# I. 経営状況

## B. セグメント別状況

### 4) 航空

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	445	443	1	0.4	939	47.4	493
セグメント利益	5	6	△0	△11.1	27	21.5	21
概況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 輸出貨物の重量が増加し、輸入貨物の取扱いも増加。</li><li>・ 輸出において、仕入単価が大幅に上昇、差益率が低下した状態で推移し、減益。</li></ul>						

### 5) 海運

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	305	292	12	4.4	611	50.0	305
セグメント利益	19	15	3	25.0	32	59.1	13
概況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 輸出において、主に設備輸送関連が売上げを支え、増収。</li><li>・ 海外引越が輸出入ともに好調を維持し、利益面でも大きく貢献。</li></ul>						

# I. 経営状況

## B. セグメント別状況

### 6) 米州

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	237	182	54	29.8	494	48.1	256
セグメント利益	13	9	4	43.9	22	59.7	9
概況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 米国において、西海岸における港湾の労働争議長期化の影響で、航空・輸入の取扱いが大幅に伸長。</li><li>・ メキシコにおいて、自動車関連のお客様の設備増強に伴う、海運・輸入が堅調に推移。</li></ul>						

### 7) 欧州

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	202	197	5	2.8	404	50.2	201
セグメント利益	4	4	△0	△16.4	8	47.3	4
概況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ドイツ、スペインにおいて、自動車関連の航空・輸出フォワーディングが堅調に推移。</li><li>・ オランダにおける電子・電機関連の倉庫配送が順調に売上げを伸ばした一方で、新規業務立ち上げに伴う初期費用の発生、ロシアでの経済低迷による荷動きの鈍化により、減益。</li></ul>						

# I. 経営状況

## B. セグメント別状況

### 8) 東アジア

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比		上半期業績予想(5/8発表)対比			
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	283	230	52	23.0	578	49.0	294
セグメント利益	2	3	△0	△28.4	9	25.0	7
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国では、自動車関連、電子・電機関連の航空・海運フォーワーディングが好調だった一方で、利用費も高騰。</li> <li>香港、台湾、韓国での倉庫配送が堅調に推移しているものの、地域全体において、コスト増により、減益。</li> </ul>						

### 9) 南アジア・オセアニア

	1Q実績	前年同期対比		上半期業績予想(5/8発表)対比			
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	190	139	50	36.6	368	51.6	177
セグメント利益	4	2	1	46.9	5	74.4	1
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国西海岸の労働争議長期化の影響により、自動車、電子・電機関連の航空・輸出フォーワーディングの取扱いが大幅に増加。</li> <li>地域全体の課題であった各種コストのコントロールが効き、増益。</li> </ul>						

# I. 経営状況

## B. セグメント別状況

### 10) 販売

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	931	1,021	△90	△8.8	1,968	47.4	1,036
セグメント利益	14	15	△1	△8.3	31	46.1	16
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油類の販売単価の下落により、減収。</li> <li>前年のユニフォームの大口受注といった特殊要因により、減益。</li> </ul>						

### 11) その他

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	16/3期	15/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	411	266	144	54.2	848	48.5	436
セグメント利益	△2	2	△4	△191.4	9	△23.1	11
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度第3四半期から連結子会社となった、日通NECロジスティクス社が、増収に大きく寄与。</li> <li>日通・パナソニック ロジスティクス社における家電の取扱い減少、日通キャピタルのロジスティクスファイナンスの取扱い減少などの影響により、減益。</li> </ul>						

## II. 経営計画の進捗状況



### 日通グループ経営計画 2015 -改革と躍進- 基本戦略の進捗状況

基本戦略	項目	進捗状況	
国内事業の経営体質強化	2016年3月期 国内複合事業営業利益率 3%	2016年3月期1Q実績 (2015年3月期実績 (2015年3月期1Q実績	2.3% 2.5%) 1.4%)
グローバルロジスティクス 事業の更なる拡大	2016年3月期 国際関連事業売上高比率 40%	2016年3月期1Q実績 (2015年3月期実績 (2015年3月期1Q実績	37.3% 34.7%) 33.2%)



### Ⅲ. 外部環境の変化

#### A. 増減要素（1Q）

変動要素	連結業績への影響 (1Q)	参考
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta 15.2$ 億円 (費用減)	(前年同期) 軽油 : 92.75円/ℓ (120.08円) ガソリン : 129.29円/ℓ (151.99円) 船舶重油 : 50.28円/ℓ (73.97円)
為替による影響	売上高 +71.5 億円 営業利益 +2.1 億円	(前年同期) USD : 119.09円 (102.78円) EUR : 134.18円 (140.79円) HKD : 15.35円 (13.25円) RMB : 19.08円 (16.90円)

### Ⅲ. 外部環境の変化

#### B. 外部要因の想定（2Q以降）

変動要素	連結業績への影響 (2Q以降の9ヶ月)	前提条件
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta$ 22.3億円 (費用減)	(前期年間平均) 軽油 : 94.55円/ℓ (110.55円) ガソリン : 129.28円/ℓ (144.40円) 船舶重油 : 52.21円/ℓ (66.47円) 使用量は前年と同量と想定
為替による影響	売上高 +164.4億円 営業利益 +5.6億円	(前期年間平均(※)) USD : 119.40円 (105.85円) EUR : 130.90円 (140.42円) HKD : 15.40円 (13.65円) RMB : 19.20円 (17.19円)

(※) 年間為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを、現地通貨建の四半期実績に適用している。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。